

令和3年6月8日

新型コロナウイルスワクチン接種の現状

- 1 接種数（令和3年6月6日現在）
 - (1) 医療従事者（約3,700人が対象）
 - ア 1回目 3,136回
 - イ 2回目 2,862回
 - (2) 高齢者（約28,000人が対象）
 - ア 1回目 16,734回
 - イ 2回目 3,891回
 - (3) 一般（約81,000人が対象）
 - 1回目及び2回目とも0回
- 2 集団接種の状況
 - (1) 公民館緑分館（水曜及び土曜午後に接種。7月31日まで開設の予定）
 - ア 実施数 8日（うち土曜日は4日）
 - イ 接種数 1,393回（うち2回目266回）
 - (2) 保健センター（木曜及び日曜に接種。令和4年2月27日まで開設の予定）
 - ア 実施数 8日
 - イ 接種数 2,384回（うち2回目500回）
 - ウ バス乗車数（往路） 99人
- 3 今後の予定
 - (1) 6月 64歳以下の方へ接種券発送
時期未定 64歳以下の基礎疾患のある方・高齢者施設従事者・60歳～64歳の方への接種開始
 - (2) 今後の見通し
当初計画以上に高齢者向け接種が進んでおり、ワクチン供給の見通しを探りつつ、一般向け接種の時期を検討中

新型コロナウイルスワクチン職域接種 各省庁向け説明会（第1回）

令和3年6月2日

パターン1 企業内診療所で実施

- ・対象は社員のみが基本（入館管理の都合等）
- ・接種体制は一時的

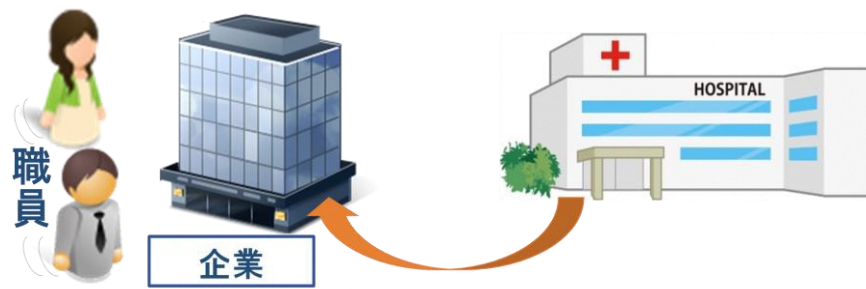
契約者：企業又は企業内診療所



パターン2 外部機関が出張して実施

- ・外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
- ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（巡回診療所等）
※新規に医療機関を開設するケースも想定される



パターン3 外部機関に出向いて実施

- ・企業が指定した医療機関で実施
- ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（地域の医療機関）



職域接種の協力依頼の内容（たたき台）

職域接種とは

- （１）地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位での接種を可能とする。
- （２）医療従事者や会場などは企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこと。

企業等に求めること

- （１）医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保すること。
また、副反応報告などの必要な対応を行うことができること。
- （２）接種場所・動線等の確保についても企業や大学等が自ら確保すること。
- （３）社内連絡体制・対外調整役を確保すること。（事務局を設置すること。）
- （４）同一の接種会場で２回接種を完了すること、最低2000回（1000人×2回接種）程度の接種を行うことを基本とする。
- （５）ワクチンの納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種すること。

企業等が行うこと（準備から接種までの流れ）

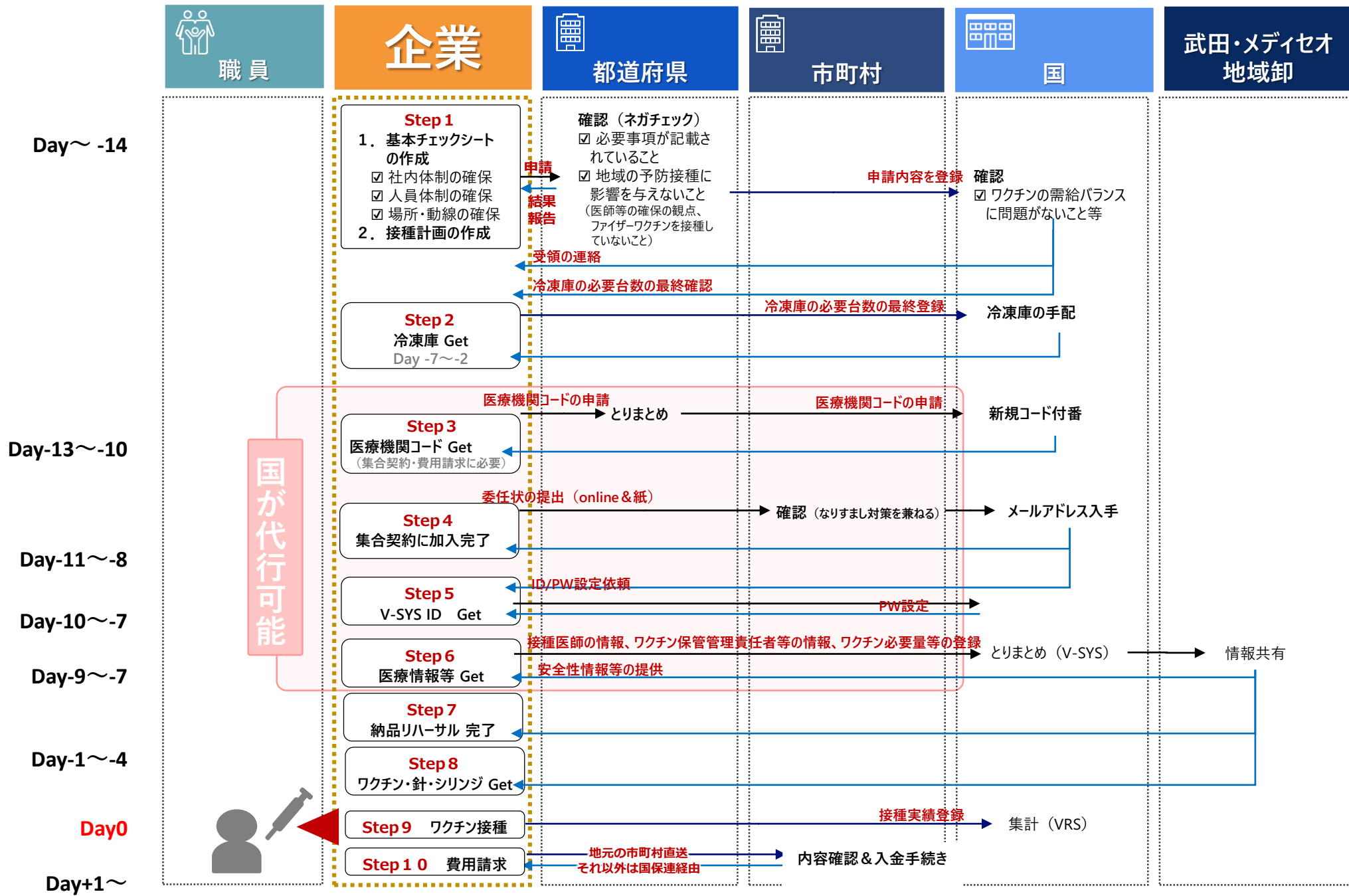
- <準備 1> 上記企業要件の（１）、（２）、（３）を確保の上、接種計画を作成し、基本チェックシートを作成。
- <準備 2> 基本チェックシートを都道府県に提出し、了承を得る。（地域の予防接種に影響を与えないことを確認）
- <準備 3> 基本チェックシートを都道府県から厚労省に提出。

国が代行業務
(NEC)

- 市町村との集合契約に必要な医療機関コード付番申請する。
- 集合契約へ加入する（委任状に押印箇所があり、廃止には総務省の協力が必要）。
- 接種責任医師名、ワクチン保管管理責任者等の必要情報をV-SYS上で登録する。
（※委任状に上記情報を記載する様式を添付し提出頂く。）
- ディープフリーザーの手配
- ワクチンの必要量等をV-SYS上に登録する。

- <最終準備> ディープフリーザーを設置し、ワクチンの納品リハーサルを実施。
- <接種本番> ワクチン接種を実施。実績報告。
- <費用請求> 費用請求を行い、後日、入金を確認。

職域接種の準備工程のフロー図（暫定版）



会場における人員確保について

医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保いただく必要があります。

＜具体的に必要な人数について（例）＞

- ・ 接種人数：400人/日 ・ 接種時間：8時間（9時～18時※1時間休憩）
- ・ 3レーン設置 15人程度/1レーン/1h
- ・ 医師2名（問診）、看護師6名（接種3、予診票2、希釈1）事務職6名（受付2、誘導2、消毒等の対応2）
会場責任者1

準備するもの、接種場所等について

会場を設置するに当たっては、接種場所・導線等についても企業や大学等が自ら確保いただくとともに、各種物品を確保いただく必要があります。武田／モデルナ社ワクチンについては、納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種することになりますので、御留意ください。

＜具体的な準備（例）＞

- （1）（医療機関でない場所で接種を実施する場合）医療法上の開設届け
- （2）会場レイアウトの作成、導線確認（次ページ参照）
- （3）卸売販売業者立ち会いのもと、ワクチンの配送訓練の実施
- （4）消毒用アルコール綿、体温計、救急用品、針捨て容器、使い捨て手袋等の必要物品の用意 など

事務局で実施すること

企業において社内連絡体制・対外調整役を確保し、医療機関や都道府県等との連絡調整等を行っていただく必要があります。実際に接種を担当する医療機関等との役割分担を確認しつつ、円滑に接種会場を運営できるようにお願いします。

＜具体的に対応する必要がある事項（例）＞

- （1）従業員等のうち、接種を希望する者の把握、必要なワクチン量の算定
- （2）スケジュール設定（接種計画の作成）
- （3）会場運営にかかる企画・全体調整（医療機関、都道府県、ワクチンを配送する卸売販売業者等との連絡調整などを含む）
- （4）集合契約への加入等の行政手続き
- （5）医療機関と連携しつつ、予防接種に係る費用の請求

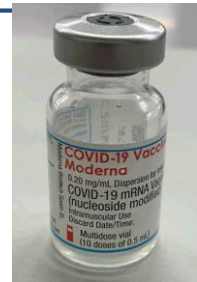
ワクチン保管用の冷凍庫

- (1) -20°C の冷凍庫と保管温度の記録計（データロガー）をご提供します。
- (2) 武田/モデルナ社ワクチンが最大2,400回接種分（バイアル単位で240本分）を保管できます。
- (3) 使用后、返却いただき、他社の接種時に再利用しますので、大切にご使用ください。



武田/モデルナ社ワクチンについて

- (1) 職域接種で使用するワクチンは武田/モデルナ社ワクチンとし、国から卸を通じて配送いたします。100回分を1単位として流通します。
- (2) -20°C で冷凍された状態で配送され、使用前に解凍が必要です。
- (3) 武田/モデルナ社ワクチンの基本情報
 - 効能効果：新型コロナウイルス感染症の予防
 - 接種対象者（年齢）：18歳以上
 - 用法・用量：筋肉内に接種（2回）
 - 接種間隔：4週の間隔
 - 接種不适当者：本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者 等
 - 貯蔵方法： $-20\pm 5^{\circ}\text{C}$ 、遮光



接種用の針・シリンジ

- (1) ワクチン接種に使用する、針及びシリンジについても、国からご提供します。
- (2) 針については、100本が1箱ずつ（83～118×93～113×75～93のサイズ）、シリンジについても、100本が1箱ずつ（126～380×120～378×68～150のサイズ）で配送されますので、針・シリンジの在庫を置くスペースも考慮いただくようお願いします。
※単位はいずれもミリメートルで、目安です。



必要な準備

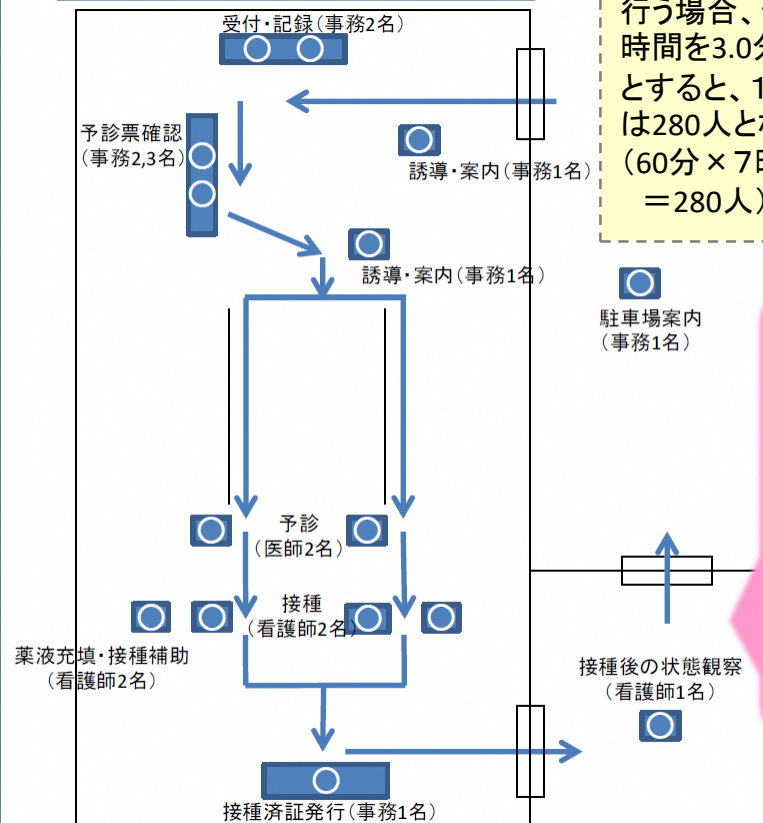
- 会場の確保 ※医療機関でない場所を接種会場として用いる場合は、診療所開設の届出等が必要
- 運営方法の検討：直営／委託、運営管理責任者の明確化、予約受付方法、応急対応の方法 等
- 従事者の確保
- ワクチン等の配送先の登録：V-SYSに配送場所、担当者名、担当者連絡先等の情報を登録
- 必要物品の確保・保管

当日の流れ

以下のうち、医師が必須なのは③予診のみ

- ① 受付**
検温、身分証明書の確認、予診票記載の案内
- ② 予診票確認**
記載項目の抜け漏れ・不備のチェック、（2回目接種の場合）接種間隔や1回目接種ワクチン種別の確認
- ③ 予診（医師）**
体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に行い、予防接種を受けることが適当でない者または予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かの確認
- ④ 接種（看護師等）**
薬液を充填する者（薬剤師等）も別に配置が必要
- ⑤ 接種済証の交付**
接種したワクチンのワクチンシールを接種済証に貼用し、接種日・接種場所を記載する
- ⑥ 接種後の状態観察**
アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行う

会場設営のイメージ



1会場あたり2列体制で接種を行う場合、予診から接種までの時間を3.0分、実施時間を7時間とすると、1日あたりの接種人数は280人となる
 $(60分 \times 7時間 \div 3.0分 \times 2列 = 280人)$

・ **少なくとも15分間**は被接種者の状態を観察
 ・ 重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方、過去に採血等で気分が悪くなったり失神等を起こしたことがある方については**30分程度**、状態を観察する必要があるため、状態観察ができるスペースの確保が必要

ワクチンの保管用冷凍庫の詳細

ツインバード社

- (1) 商品名 (品番)
ディープフリーザー SC-DF25WL
(武田モデルナワクチン輸送標準機器と同じ)
- (2) 温度帯
設定温度 : +10°C ~ -40°C (1°C刻みで温度設定可能)
- (3) サイズ・重量
内容量 : 25リットル、重量16.5Kg
外形寸法 : 幅 695 x 奥行 350 x 高さ 460 (mm)
内径寸法 : 幅 335 x 奥行 225 x 高さ 340 (mm)
- (4) ロガー情報
データ読み込みインターフェース : Bluetooth 5.0
スマートフォンで温度データ読み込み (iOS/Android対応)
※電池は約180日を目安に交換
- (5) 電源
壁コンセントから : SC-AD70 ACアダプター
車載時 : シガレットプラグケーブル (3m、DC12V)
※分岐ソケットや二股コンセント、又は延長コードは使用しないこと。
- (6) 設置場所
水平な場所に、蓋を上にして設置すること。
水のかからない場所に設置すること。
風通しがよく湿気の少ない場所に設置すること。
付属のマットを敷いて使用すること。
吸排気口は壁や障害物から20cm以上離して設置すること。
直射日光の当たらない場所や埃の少ない場所に設置すること。
- (7) お問い合わせURL : <https://www.twinbird-ec.jp>
お問い合わせ番号 (フリーダイヤル) : 0120-28-4625
- (8) 停電時
停電時 -20°Cから -15°Cまでの時間 : 約25~30分

ディープフリーザー25L SC-DF25WL

主な特徴

- ・ 軽量・コンパクト・可搬型
- ・ 1°C刻みの温度設定
- ・ ノンフロン・CO2排出ゼロ
- ・ 低消費電力



付属品：ロガー

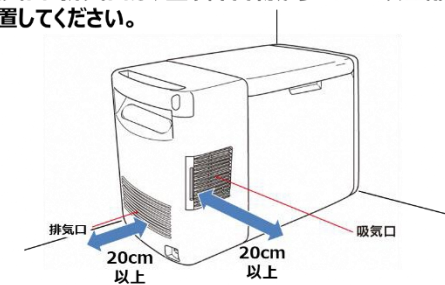


付属品：ACアダプター



設置場所

- 吸気口・排気口は、壁や障害物から20cm以上離して設置してください。



※注)仕様は予告なく変更される場合があります。ご注文前にご確認ください。

小金井市長 西岡真一郎 様
小金井市教育長 大熊雅士 様

2021年6月1日(火)

緊急事態宣言下における学校施設の目的外利用に関する要望

自由民主党・信頼の小金井
小金井市議会公明党
小金井をおもしろくする会
市民といっしょにカエル会
こがねい市民会議
情報公開こがねい
生活者ネットワーク
元気！小金井
緑・つながる小金井

新型コロナウイルス、とりわけ変異種による感染拡大のため、東京都における緊急事態宣言は6月20日まで延長となった。その中においても、6月1日より使用できる施設が増えたことなど、他施設の開設状況も踏まえ、以下の点を要望します。

<要望>

速やかに市立小中学校施設の目的外利用を実施すること

<理由>

- ・ 学校施設が使用できないことで、それ以外の場所が密になっている
- ・ コロナ禍で子どもたちが強いストレスを受けていることが、コロナ×こどもアンケート(国立成育医療研究センター)結果でもわかる。身体を動かしてストレスを発散する機会の創出が必要(参照)https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/report/#01
- ・ 都や市で使える施設があり、学校施設のみが閉鎖し続けることに矛盾がある
- ・ 各団体も工夫をして、各団体の責任において感染対策を実施している

今回の緊急事態宣言下において校庭利用を不可とする根拠は「東京都教育委員会の方針」であると市の新型コロナウイルス対策会議で述べられていましたが、その都下でも西東京市や日野市、世田谷区、杉並区など幾つかの自治体では、校庭や学校施設利用等を続けています。教員負担増にならないよう配慮しつつ、子どもたちの安全・安心に直結することを最優先として感染対策を万全に、使った施設備品の消毒を徹底することなどを利用団体へ遵守してもらうことなど含め、小金井市、小金井市教育委員会としての対応を検討いただきたい。

以上、よろしく願いいたします。